

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		項目4 運営推進を活かした取り組みで、外部評価の担当者の方に、運営推進会議参加者の中には、介護の専門家もいないので、グループホーム、認知症についての説明をしていないと話の内容が、参加者に伝わりにくい。	1、グループホーム、認知症高齢者についての簡潔なパンフレットを作成する。	管理者がグループホーム、認知症高齢者についてのパンフレットを作成。A4サイズの用紙で、2、3枚程度にまとめたものを作成。	6ヶ月
2		アンケートに、ご家族より居室内の掃除がされていないと、ご指摘を受けた。	1、見えない部分の掃除(ベッド下、家具の後ろ)押し入れ内の整理が行えていない入居者もいるので、対応する。	アンケートの結果については、毎月行う会議の席で(12月6日)各職員に管理者より説明を行い、ご指摘を受けた入居者だけでなく、その他の入居者についても対応をする。居室担当職員は、出勤時に時間を作り、担当入居者の居室の整理を行う。	6ヶ月
3		アンケート結果から、ゆうなぎ九十九里の日常の様子をご家族へ伝えることを行っていなかった。	1、毎月発行している「かわら版」に日常の様子が解る写真と説明の文章を添える。	平成24年12月初旬に、かわら版作成担当者に日常生活が解るよう、普段の生活の写真、文章の添付を指示。また、ご家族に説明されていない行為(毎週、歯ブラシ、入れ歯入れの消毒)等も広報していく。	6ヶ月
4		今年度スケジュールの都合がつかず、前年度の目標計画が達成途中のものがある。「調理中に入居者とコミュニケーションをとりながら調理を行っているが、アンケートにある食事についての意見を真摯に受け止める。」	1. 食事について、味はもとより、見栄え、バリエーションに富んだものにする。 2. 食事づくりや、食事を通じて入居者各位の機能に資する。 上記2点の目標を立てた。	1. 現在の食事について、統計や分析を実施し、客観的にどのような傾向で供されているか把握する。 2-1. 傾向を見極めたうえで、見栄え、バリエーションを増やすため、現在調達している食材の中から、入居者とともに調理が行えるレシピを作る。 2-2. 現在調達している食材の中で、見栄え、バリエーションを増やることが困難な場合には、これまでの食事にないレシピを作り、これにあわせて食材の調達手法を変える。 1について今年度は、過去のデータを分析し傾向が見えてきた。 2-1、2-2については、今年度中に食事担当者と詳細、方法等を打合せ、実施する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。